

令和2年度 事業所における放課後等デイサービス
自己評価表(公表)

公表： 令和3年3月31日

事業所名 多機能型児童発達支援事業所 森の子

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10		未就学児と就学児の利用時間に応じて、部屋や空間を上手く分けて活動を行っている。 今年にはコロナ禍もあり、室内で密にならないようマットでの空間をいくつか設ける等、密にならないよう工夫を行った。	今後も子ども達の成長に伴い、訓練、学習、活動に合わせて空間や部屋を上手く活用していく。引き続き密にならない取り組みも行いながら、子ども達が安全に楽しく過ごせる空間作りを心掛けていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	10		専門性を活かし、場面や状況によって、適切に職員を配置できるように行っている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10		安全対策として、危険と思われる場所には安全クッションやコーナーガード等を取り付け、フローリングにはジョイントマットを使用し、安全面に配慮している。	今後も利用される児童に合わせて環境設定を行っていく必要がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10		毎日の朝礼や定期的な会議の中で、職員全員で話し合い決めている。	会議中決定した内容が上手く実施できていない事もある為、その都度修正していく必要がある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10		アンケート調査を実施し、ご家族の気持ちや子ども達の気持ちを把握し、業務改善に繋げているが、不十分な点も多いように思われる。	今後もご家族、子ども達の意見等を職員全員で把握し、子ども達の支援、業務改善に繋げていく。又、日頃からご家族とコミュニケーションを図り、ご家族の思いに寄り添い、思いを引き出せるよう努めていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			年に一回自己評価の実施とホームページによる公表を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	3	コロナ禍の間は難しいように思われるが、日頃から外部の方を受け入れる体制はできており、意見等に対して前向きに改善する姿勢である。	今後も意見等に対して前向きに改善するよう努める。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10		毎年研修には積極的に参加している。今年には新型コロナウイルスの為例年より参加は少なかったが、オンライン研修での参加も行った。	今後も色々な形で職員が学ぶ機会を増やし、職員のスキルアップに繋げていく。

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10		新しい情報が入った際は、アセスメントを更新している。又、ニーズや課題を分析し、個別支援計画書の作成を行っている。	定期的にご家族と面談を行い、課題を把握し、個別支援計画書の作成に努めていく。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2		標準化されたアセスメントツールは使用していない為、今後検討していく。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10		職員同士で話し合い情報共有を行いチームで取り組んでいる。	毎日の朝礼の際、子ども達の活動の振り返りを行い、その都度課題について検討していく。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10		今年はコロナ禍であまり行事が行えなかった為、普段の活動に加えくじ引き大会等室内で子ども達が楽しめる活動を取り入れ、子ども達も喜ばれていた。	今後も状況に応じて行事の代替えや子ども達が楽しめる活動の工夫を行っていく。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10		平日は学校の申し送り、子ども達一人ひとりの状態に合わせて、リハビリ、机上活動、自立課題等を行っている。休日や長期休暇等は、クッキングや外出支援を取り入れていたが、今年はコロナ禍で実施する事が難しかった。午前、午後と活動を分けて、室内で楽しく過ごせる工夫を行った。	今後も子ども達一人ひとりに合った活動内容を考え取り組んでいく。又、活動内容が固定化しないよう工夫していく。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成するよう行っている。	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10		朝礼の際、送迎時等の申し送り、前日の振り返り、当日のスケジュール、子ども達の状態や活動についての情報共有、送迎等の役割分担についての確認を行っている。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	3	全体でのミーティングは行っていないが、職員間でその日の振り返りや気づきを出し合い、次の日の朝礼に繋げている。	送迎後十分な時間が確保できない為、翌朝に話すようにしているが、今後は定期的に職員全員で話す機会を増やしていく。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10		放課後等デイサービス計画書に基づき、日々の日誌に細かく記録するようにしている。	日々の支援の記録は細かく日誌に記載するよう努めているが、支援の検証・改善に繋がっていない部分もある為、今後行っていく。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要な際は変更をかけている。	

	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援行っているか	9	1	ガイドラインに沿って実施するよう努めている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10		サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画している。会議前には、対象児に関わる保育士、PT、看護師、児童指導員と情報共有を行っている。	今後は実際に関わる事が多い保育士や児童指導員も参画できる機会を作っていきたいと考えている。
	②1	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10		毎年学校から年間計画書を頂き、月の行事予定の変更、災害時(台風や水害時等)の下校時間の変更等においても、学校、保護者と常に連絡を取りながら対応している。	
	②2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10		ご家族を通して連絡させて頂いたり、必要に応じて通院に引率させて頂き、支援に繋がっている。	子どもの状況に変化が見られる際は、主治医と連絡を図りながら支援を行っていく。
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10		対象児の園での様子を伺ったり、情報共有と相互理解に努めている。	
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	10		本人、ご家族が希望される際は、情報提供を行っている。	
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10		法人内に児童発達支援センターがあり、OT等から助言を受け、子ども達の支援に繋がっている。	
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	6	今までは、商店街散策や公園、市立図書館等へ行き、障がいのない子ども達との交流を図る工夫は行っていたが、今年はコロナ禍もあり難しい状況にあった。	今後コロナ禍が落ち着いたら障がいのない子ども達との交流を図る機会を作っていきたい。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	5	管理者が自立支援協議会の部会委員として参画している。	職員が参画する機会を検討していく。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10		送迎時や連絡ノートを通して、自宅での様子や森の子での状況等において共通理解すると共に、課題等について支援していくよう努めている。	
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9	1	ペアレント・トレーニングという具体的なプログラムの提供は行っていないが、その都度子どもの状況について情報共有し、相談しやすい関係作りに努め、家族支援を心掛けている。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10		利用契約時に説明を行っている。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10		ご家族から相談があった際は、その都度相談に乗り、支援を行っている。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		10	父母の会の活動や保護者会等は行えていない。	現在父母の会はないが、今後検討していく。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10		常時、ご相談に対応できるように努めている。苦情受付窓口を設置等についても重要事項説明内に記載している。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	3	定期的に会報等の発行は行っていないが、連絡ノートに日々の活動内容や行事のお知らせ等を記載し発信している。又、必要に応じて書面にてお知らせを配布している。	定期的に会報等の発行は行っていない為、今後検討していく。
	③⑮	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10		個人情報がかつた書類は鍵のついた書庫へ保管し、不要になった書類はシュレッターにかけるを徹底している。	
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			
非常時の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	2	今年はコロナ禍で実施できなかったが、法人全体で年に一回秋祭りを開催している。	事業所という単位では行えていない為、今後検討する。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10			マニュアルの策定は行っているが、保護者の方への説明が不十分などところがある為、今後検討していく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			定期的に訓練を実施し、その際はご家族に連絡ノート等でお知らせできるよう努めていく。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10		外部研修への参加と、年に一回法人内研修を行っている。	今後も研修の機会を増やし、職員一人ひとりが意識して取り組めるよう努めていく。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10		やむを得ず身体拘束を行う事がない為、記載していない。	日常的に使用する車椅子、座位保持、カーシート等のベルトやベッド柵に関しては、安全の為しようする事をご家族に説明、ご理解のもと、児童発達支援計画書の記載に努めていく。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	利用前にアレルギーの有無は必ず確認している。医師の指示書を基に厨房にてアレルギー対応食の提供を行っている。	医師の指示書と共にエピペンの使用方法についても対応できるよう努めている。今後もご家族と情報共有を行うと共に、厨房、森の子職員で協力し、安全な給食の提供に努めていく。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	ヒヤリハット事例集として作成は行っていないが、職員間で事例をもとに共有し、記入と周知に務めている。	

○ この放課後等デイサービス評価表は、放課後等デイサービス事業所の職員の方に、評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」、のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。